



賢く 優しく 逞しく

11月号・令和5年11月1日発行

本校URL <http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/> 武蔵村山市立第五中学校

一生懸命は格好いい！

校長 榎戸 千代子

11月の和風月名は「霜月（しもつき）」です。霜が降る月という意の「霜降月」（しもふりつき）の略です。秋も深まり、朝晩は冷え込みも増してきました。今年の二十四節気では、11月8日（水）から「立冬」になります。これから次第に寒くなってくるとお思いますので、より一層体調管理に努めてください。



【合唱コンクール開催・10月19日（木）】

「みなさん、今日は待ちに待った合唱コンクールです。私たち五中生は今日まで3週間、実行委員やリーダーたちを中心に歌に真剣に向き合ってきました。それは、最優秀賞を取りたいという気持ちのあらわれでもありましたが、全校生徒の最終的な目標はクラスが一つになり、みんなで歌える喜びを実感できるステージにしたいということだったのではないのでしょうか。この3年間、学校全体の合唱に本格的に取り組む機会の少なかった私たち三年生にとって、追いかけるべき目標の先輩の歌声がないということは、苦しいことでした。これは一年生も二年生も同じ苦しみだったと思います。しかし、こうして全校生徒が一堂に会したさくらホールで歌える喜びを胸にこれまでで最高の合唱を作りあげましょう。そして、新たな五中の歴史と伝統の一步を踏み出しましょう。」



これは、合唱コンクール実行委員長、3年生 黒澤 彪さんの「開会の言葉」です。今年全校生徒は、それぞれコロナ禍で十分声を出せなかった3年間を過ごしてきました。昨年度は合唱コンクールを実施しましたが、学年ごとの開催でした。手本とすべき先輩たちの歌声を聴いていません。そんな中で、9月28日（木）からクラス練習が始まりました。音楽の時間と放課後の練習が中心で、期間はわずか3週間、実際の練習可能日は14日間でした。最初の頃は、歌詞もまだ覚えきれていなくて最後まで自信をもって歌えませんでした。1回目のリハーサルは、各学年とも満足のいくものではなかったと思います。

10月14日（土）の学校公開の折に、御来校いただいた保護者の皆様に2回目のリハーサルを参観していただきました。各学年ではこの時、生徒たちの歌っている姿をビデオに撮り、その後クラスで見直して改善点を具体的に話し合いました。この頃から練習にも熱が入ってきたようです。

本番はどの学年も今まで歌ってきた中で最高の歌声、表情で堂々と歌い切りました。一人一人が自分のパートの声をしっかりと出し、一生懸命歌っている姿は格好よかったです。何事も、やるべきことに真面目に、真剣に取り組んでいる姿は素敵で、人々の感動を呼ぶものです。男女のハーモニーもとてもきれいで、息継ぎの呼吸もぴったりと合い、クラスの「一体感」を感じました。特に1、2年生の皆さんは3年生の迫力ある歌声を聴いて圧倒され、学んだことが多かったと思います。保護者、地域の皆様からのアンケートでも、「感動した」「素晴らしかった」というお褒めのお言葉をたくさんいただきました。1、2年生の皆さんは、来年度も3年生の素晴らしい伝統を引き継いで欲しいと思います。御来場いただいた御来賓、保護者、地域の皆様ありがとうございました。

【11月は「ふれあい月間」】

合唱コンクールが終わり、3年生は進路、2年生は12月の校外学習、1年生は1月のスキー移動教室に向けた取組が始まりました。合唱コンクールで築いた皆で協力、団結することの素晴らしさや達成感を次の行事につなげて欲しいと思います。今月は「ふれあい月間」です。友達の個性や良さを認め、いじめや差別、悪口や暴力のないクラス、学年、学校を作りましょう。

明るいあいさつ・みんなの笑顔

第五中学校区（二小・八小・十小・五中）